

2023年1月26日

各位

株式会社 北海道銀行

**ほくほくサステナブルファイナンス（サステナビリティ・リンク・ローン型）の
契約締結について**

ほくほくフィナンシャルグループの北海道銀行（頭取 兼間 祐二）は、會澤高圧コンクリート株式会社（北海道苫小牧市、代表取締役社長 會澤 祥弘、以下「會澤高圧コンクリート」）に対し「ほくほくサステナブルファイナンス（サステナビリティ・リンク・ローン型）」※1の契約を締結しましたのでお知らせいたします。

※1 [2021年9月16日付「ほくほくサステナブルファイナンスの取扱開始について」参照](#)

記

1. サステナビリティ・リンク・ローンについて

サステナビリティ・リンク・ローンとは、お客さまのサステナビリティに関する取り組み促進を目的に、サステナビリティ戦略に資するキー・パフォーマンス・インディケーター（以下、「KPI」）および取り組み目標（サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下、「SPT」）を設定し、SPTの達成状況に応じて金利等の借入条件が変動することで、SPT達成への動機付けを行う融資商品です。

2. 本件の概要

借入人	會澤高圧コンクリート株式会社
実行日	2023年1月26日（木）
資金用途	鶴川工場製造設備増築資金
融資形態	証書貸付
KPI	自己治癒コンクリート「Basilisk」の自社製造量
SPT	自己治癒コンクリート「Basilisk」の製造量を大幅に増加させること
インセンティブ	SPT達成状況に応じた金利スプレッドの優遇
貸付人	北海道銀行

會澤高圧コンクリートは「Innovate・Challenge・Trust」の理念のもと、コンクリートマテリアルと先端テクノロジーを掛け算して新たな企業価値の創造に取り組む1935年創業の総合コンクリートメーカーです。創業100周年を迎える2035年までに温室効果ガスのサプライチェーン排出量を実質ゼロにする「NET ZERO 2035」にコミットメントし、持続可能なスマートマテリアルカンパニーへの転換を目指しています。

同社が世界で初めて実用化に成功した自己治癒コンクリート「Basilisk」は、細菌が生み出す炭酸カルシウムがひび割れを修復する特性を持ち、コンクリートの耐用年数が通常の65年から100年に延びるため、建築物の補修や建て替え回数が減少し、コンクリート供給時に発生するCO2排出量の削減につながります。

本件のSPTは、「Basilisk」の段階的増産を設定し、2035年度には20万m³超（2022年度の15倍超）の製造量とすることを目標としております。

当行は、本件を通じて會澤高圧コンクリートのサステナビリティ経営に対する取り組みを金融面から支援していきます。

なお、本件は「サステナビリティ・リンク・ローン原則 (SLLP)」および環境省が策定した「グリーンローンおよびサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン (環境省ガイドライン)」との適合性について、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センター (R&I) より第三者意見を取得しております。

3. 該当するSDGsの目標



SDGsは Sustainable Development Goals の略称で、2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき17の目標と169の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。
ほくほくフィナンシャルグループは、2019年4月に「SDGs宣言」を表明しました。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道銀行	コンサルティング営業部	山内	TEL 011-233-1069
	広報CSR室	小山	TEL 011-233-1005